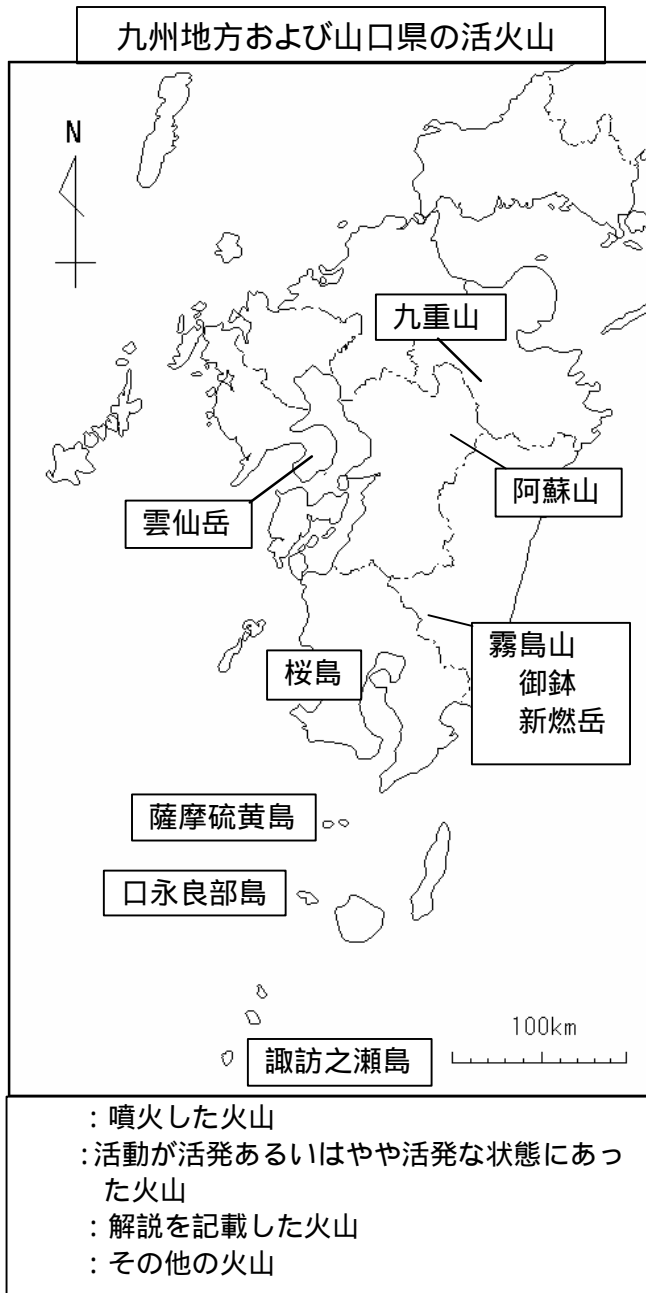


九州地方の火山活動解説資料(平成 18 年 11 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

【11月の活動概況】

諏訪之瀬島は活発な状況が続いています。桜島では、比較的静穏な噴火活動が続いています。
薩摩硫黄島と口永良部島はやや活発な状況が続いています。



九重山[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

阿蘇山[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。
火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。
南阿蘇村吉岡の噴気活動に特段の変化はありませんでした。

雲仙岳[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

霧島山
[御鉢 静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。
[新燃岳 静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

桜島[比較的静穏な噴火活動(レベル2)]
南岳山頂火口では小規模な噴火や爆発的噴火が観測されましたが、昭和火口からの噴火は観測されませんでした。火山性地震や火山性微動はやや多いものの、噴火活動は比較的静穏な状態で経過しました。

薩摩硫黄島[やや活発な状況(レベル2)]
地震活動、噴煙活動ともにやや活発で、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

口永良部島[やや活発な状況(レベル2)]
火山性地震や微動はやや多く、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

諏訪之瀬島[活発な状況(レベル3)]
噴火や爆発的噴火が時々発生し、火山活動は活発な状態で経過しました。

注1 本資料中で記したレベルとは、現在12火山(うち九州地方及び山口県では8火山)に導入している火山活動度レベルをいう。

この解説資料は気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/>)、福岡管区気象台 HP(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)に掲載しています。

次の火山活動解説資料(平成 18 年 12 月分)は平成 19 年 1 月 9 日に公表予定です。

なお、この資料は、気象庁のデータその他、大分県、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、阿蘇火山博物館のデータを利用し作成しています。
本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ(標高)」を使用しています(承認番号:平 17 総使、第 503 号)。

火山情報発表状況

火山名	情報名	発表時間	概要
雲仙岳	火山観測情報第 1 号	7 日 00 時 15 分	静穏な状態(レベル 1) 平成新山南東斜面での発光現象。火山活動は静穏な状態が続く。
	火山観測情報第 2 号	10 日 13 時 00 分	静穏な状態(レベル 1) 当初発光現象が見られた場所で白煙や発光現象は見られず、また火山ガスの噴出や噴気孔は確認されていません。火山活動は静穏な状態が続く。
口永良部島	火山観測情報第 3 号	27 日 16 時 00 分	やや活発な状態(レベル 2) 火山性微動が増加し、火山活動はやや活発で経過しました。